

平成30年度第1回根室振興局農業農村整備事業等環境情報協議会 議事録

※意見交換会場所：別海町役場301号会議室

・次第の4 意見交換及び情報収集

1) 開会

2) 挨拶

3) 座長選出

4) ①環境情報協議会の設立経緯について

②田園環境整備マスタープランについて

③H29 環境情報協議会開催結果における経過報告

※上記1)～4)について、各担当者から説明。

④計画策定地区の説明及び意見交換等 ※下記 議事録

時 間	発言者	発言内容
<b>① 【川北地区】</b>		
15:07	座長（宗岡委員）	草地畜産基盤整備事業、道営草地整備事業、川北地区の意見交換を行いたいと思います。 では説明、お願いします。
	振興局担当者	振興局説明
	座長（宗岡委員）	ありがとうございます。今の川北地区について何かご意見、ご質問等、委員の皆さまございませんでしょうか。積極的な意見をいただいて円滑な質疑をしていきたいと思っています。 起伏修正、排根線の除去、若干草地造成ということでございました。周辺の河川が遠いということで、環境の配慮に対しての重要な部分の事項が少ないかなと思います。実施に関連することでも構いませんので、何か意見をいただければと思いますがいかがでしょうか。
	藤倉委員	意見というより、この内容から見て、河川の距離が近いところはやめてもらったとか、造成というか、自然の立木を潰してまでの草地造成はないようなのでかなり環境に配慮した良いやり方で、お手本かと思って見ていました。施工としては完璧なやり方かと思います。農家さんともよく話し合いをしているというのが良い方向に推移してると思います。
	座長（宗岡委員）	ありがとうございます。同じ酪農家という立場から、環境にも配慮できた良い事業ではないかという好意的なご意見をいただきました。 技術的なことでも構いませんし、本当に些細なことでも構いません。何か聞いてみようかということはございませんでしょうか。

		<p>先ほど現地でここの地区の、排根線を除去した後の伐根物はどうするんだという話で、肥沃な土砂になっている部分は畑に還元するということでしたので、このことに関しては表層部の物理的な改善も含めて有効ではないかと思っております。</p> <p>1つ技術的に伺いたいのですが、草地造成をする場合、一般的にどんな種類の牧草を播種するのが一般的なのか教えていただきたい。</p>
	農協	<p>基本的にはイネ科のチモシーとクローバー系ですね。赤、白そういう草地の部分がほぼという形になっています。</p>
	座長（宗岡委員）	<p>ありがとうございます。</p>
	藤倉委員	<p>牧草の種子に関しては、普及所、根釧農試等が関係し、きっちりした品目で安全なものを使用しております。一般の市販ではなくきっちりと流通安全規格がきっちりとされたものでその辺は普及所中心に発信していますので安心しております。ということは道の方から全部、流れてきている状況。</p>
	座長（宗岡委員）	<p>いわゆる、公的な仕様書に基づいて適切な種子を使っているということですね。近年、内の教授の研究でドローンを飛ばして牧草地の雑草を判別するというのをやっております。チモシーが主体ですが、例えばリードカナリーグラスなんかが入ってこれがどのように判別できるかというのをやっています、このリードカナリーグラスなのですが平成の頭くらいまで河川のいわゆる盛土のり面の中に結構、捲いてきてそれがはいつてくるという経緯もあったり、川を少しでもいじったりすることがあるときには、その辺のり面として、あるいは道路のり面として捲く、種類として牧草への雑草にならないかなど、危ぐをもったものですから、そういった所への配慮を今一つしていただければという風に思います。</p>
	振興局担当者	<p>はい、了解しました。</p>
	座長（宗岡委員）	<p>他にございませんでしょうか。</p> <p>では、今の意見をまとめましてここは環境上、大きく問題になるということは少ないようございまして、この事業は農業者さんからの立場からも環境に配慮した良いモデルになる事業ではないかということが1つです。</p> <p>それから、排根線を撤去、除去するに際してそこで肥沃になったというか物理的に改善されたような土壌を農地還元するということに関しても表層土の物理的改善ということからもいいのではないかと、それから牧草の種類に関しては普及所を中心に仕様化されたものを適切に使用している。周辺の道路とか河川とかの、のり面を工事するときにそこに導入するような外来草に対し、その辺も再度、検討の対象にさせていただければと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p>

【上風連北地区 通作条件整備、一般農道整備】		
15:18	座長（宗岡委員）	それでは、次に通作条件整備、一般農道整備、一般型上風連北地区の説明をお願いいたします。
	振興局担当者	振興局説明
	座長（宗岡委員）	<p>ありがとうございます。</p> <p>上風連北地区につきましてご説明、いただきました委員の皆様、何かご意見等ございませんでしょうか。</p> <p>質疑の方、よろしくお願いいたします。</p> <p>些細な点でもぜひ、この機会に意見がないとこの状態でそのまま来年から早ければ実施という形になっていくものですから、出せる意見は各界の代表としてぜひ、積極的に出していただければと思います。いかがでしょうか。</p>
	座長（宗岡委員）	<p>では、私が最初に提起をしておきます。</p> <p>これは非常に長い延長の道路で、2カ所河川が横断しているということで、横断管等を入れるという話だと思うのですが、現地で聞いたところによると横断管・ボックスカルバートになるかも分かりませんが、現在管径はφ3000mm管という話でしたがその道路に横断する今のですね、管の径の大きさについては、現況あるいは少し大きい位を意識していただきたいと思います。現地でもお話しさせていただいたのですが管の径ですね、近年この10年くらいゲリラ豪雨といった言葉がありますけども、短時間に集中した雨、降水が各地でもたらせるような、近年、気象条件が大きく、具体的に数値的にも出ているのですが変わってきています。短時間に集中した雨が降ると集まってきた水が一気に流れるという問題がありまして、最近、小さなところでありますとやはりもたなくて溢れているといったこともありますし、管径的には大丈夫ですけど通水断面がうまく確保できない、植生が繁茂しすぎることで通水断面が小さくなるとか、増水した後に河床に土砂が溜まることにより通水断面が小さくなる、要するに流せるはずの設計であつてもうまく水が流れないで溢れるという問題も起こりやすい自然環境になっていて、おそらく今後、こういった事が続くというよりむしろ増えるという可能性がある、ということを考える時に、このような農業用排水路なども含めまして、河川断面・通水断面の大きさの検討というものは今の基準だけではなくて今後を見据えた時のことも含めて、やはり再検討していく時代が来ていると考えております。そういった意味でその管径は現況なり、あるいは少し大きいくらいの物を再度、慎重に検討していただいて設計し施工に活かしていただきたいと農業農村工学の立場から思いましたので、せっかく作った物をストックマネジメント、長く維持して行くという視点からも少しイニシャルコストはかかっても最終的には何十年間、トータルではむしろ安</p>

		く済んだといこともあろうかと思しますので、この管径の大きさ、あるいは河川周辺の断面の形状とかその大きさを、増水したときの流水プラスアルファのことを考えて少ししっかりと検討していただきたいという意見でございます。
	振興局担当者	了解しました。
	座長（宗岡委員）	<p>その他、何かございませんでしょうか。</p> <p>これから道路が3つ続くのですが、先ほども現地で言わせていただいたのですが、酪農地域、特に根釧、先ほど夏時期にはゲリラ豪雨ですが、冬時期にはある程度まとまった雪が降ると共に寒い時期、吹雪で色々な地域で通行止めといった問題が近年、起きていると思います。その時に農業の立場から言いますと、酪農家さんから生産された、搾ったミルクを運搬するその運搬車両に支障をきたす可能性がある、大きな道路だけでは無く、こういった地先の農道も舗装して整備しておく方が除雪やそういった車両運搬、色々なことに対して絶対に有利になるということも、プラスアルファの目に見えない効果があるので、こういった事業はできるときに是非、粛々と進めていってもらいたいという思いがございます。これも農業農村工学の立場からで、ぜひ計画通り進めていただきたいと思います。地先の舗装というのは1年間で考えると4～5ヶ月又は半年間は冬期という環境で、寒冷であるということ、雪が降ると言うことに対して例えば凍結、凍上の問題や融雪、凍結融解そういう時期も含めた円滑な輸送という立場からも道路整備をしっかりと計画通り行っていただきたいと思っております。</p> <p>他、ございませんでしょうか。</p> <p>是非、皆様の立場でいただければと思うのですが。</p> <p>藤倉様、私は今、技術者の立場からお話しさせていただきましたが、同じ酪農家さんとしても同じ考え方とかみなさん同じ要望もあるという考え方でしょうか。</p>
	藤倉委員	<p>はいそうですね。道路についてはただ歩くだけではなくて、個人が使うだけでなく、地域の流通、特に集荷路線、農耕飼料の運搬など道路は大事になってきています。</p> <p>それと69ページの現況河川の上流については木を切らないという事だったのですが下流側には若干切るという説明があったのですが、間違いありませんね。</p>
	振興局担当者	道路用地幅自体はさほど広がらないのですが、どうしてもボックスを施工する場合、仮設工が必要ですので、仮設を含めると若干木を切らないとならないかなと考えております。
	藤倉委員	色々な自然環境に応じては問題ない範囲内でとどめておくということ

		よろしいですね。
	振興局担当者	最小限にします。
	座長（宗岡委員）	ここは外山さんいかがでしょうか。
	外山委員	この林は二次林で1回切られていると思うのですがそこで少しずつ、しらかばとかが、川沿いに生えてきているのである程度いじったとしてもまた復元していけるだけの許容はあると思います、もともとの自然な環境ではない場所なので多少いじってもそこまで影響は出ないかなと判断できると思います。
	藤倉委員	先ほどゲリラ豪雨の話もされていたものだから、こういう木という物は水位を下げるという為にも必要ですから、色々な面で、そういうのにも影響がない程度だと認識は現地見て、そんな大きな木もなかったですし、さっき木を切るという説明だったものですから確認のために聞きました。
	座長（宗岡委員）	この伐採の対象になる樹木は、自然に生えていた物ではなく二次林であるということと同時に、希少あるいは貴重な樹種とかでは無い、ということで必要最小限の形で切ることに問題無いという考えでよろしいですね。
	外山委員	はい。大丈夫だと思います。
	座長（宗岡委員）	ありがとうございます。 他、ございませんでしょうか。 高山様。
	高山委員	特にございません。 ただ、周りが湿地帯ということでこの道路ができれば、少し水位が下がって良いのかなと言うことを考えましたけども。少し水位が下がるんですよ。
	振興局担当者	側溝を今回作るので畑側から来る水もあり、排水性は善くなるのかなと期待はしています。
	座長（宗岡委員）	ありがとうございました。
	座長（宗岡委員）	漁業との影響がまだちょっと。河川が2つかみまますけども。特に成田さんここは漁業との影響というのは、先ほどの地区もそうですが、それほどではないかと。
	成田委員	産卵河川とはいえ、上流部の方ですが途中にも草木の生えておりますので影響ないとは思いますが。これがすぐ側で産卵床があるような場所でしたら注意して工事しなければいけません。道路整備されればいろんな効果がありますので進めていただければと思います。

	座長（宗岡委員）	<p>ありがとうございます。</p> <p>先ほどの説明にもありましたけども、ボックス等を工事するときには、河川環境その生息している様な魚類等含めて時期を限定して、時期を考慮して行うということですのでそういったことに配慮して進めていただきたいと思います。</p>
	座長（宗岡委員）	<p>意見をまとめますと、まず1つは技術的な視点から横断管の径ですね、再度、検討していただいて現況は勿論ですけどもプラスアルファの大きさがあつた方が良くないかと、最近の降雨のありかたとか年限が経つことによつてその通水断面が確保できないような問題とかも含めれば、少し大きめの物を考えても良くないかということを検討して欲しいということ。</p> <p>舗装は冬期の吹雪を考えたときに舗装道である方が流通、輸送そういった物を確保しやすいという視点からも進めていただきたいということ。</p> <p>自然環境の立場から若干、樹木を伐採するということですけども少なくとも今、伐採対象となっている樹木は比較的、二次林であつて希少な樹種とは違つた物ですので必要最小限な範囲で伐採するには問題ないだろうという事です。</p> <p>今回のこういった事業を行うことによつて排水といった物に対して少しまたプラスアルファの効果が道路整備によつて起こる事や、横断管を2ヵ所設置しますけども、河川環境の影響は極めて小さいのかなということで河川に生息する魚類を中心とした生息する生物を考慮したその中で、時期を限定して施工していただきたいということでございます。</p> <p>余談ですけども先ほど車の中で担当のみなさまともお話しさせていただいたんですけども、上風連の連という字は草冠なしで良いのでしょうか。</p>
	振興局担当者	<p>風蓮湖、風蓮川は草冠付きますが上風連は付かないです、河川もですね第5風連川の風連は草冠付かないですね、その辺は使い分けは不明ですが。</p>
	座長（宗岡委員）	<p>ちゃんとした情報を調べてください。インターネットはいい加減ですの で。</p>
	振興局担当者	<p>この漢字は大丈夫です。この一般図にも若干、見づらいかもしれないのですが68ページの一般図なのですけども、まる農と書いてある左隣、あるいは起点の起の下辺りの一般図には草冠はありません、昨年度、議論していただいた草地整備の別海上風連地区の連も、同じ上風連集落ということで草冠ついて無いです。</p> <p>私も分からないところがあつたので河川台帳なども調べて間違い無くやっております。</p>

	座長（宗岡委員）	おそらくこれからも出てくると思いますので間違いなく使っていただければと思います。このような形でまとめさせていただきまして、基本ここまでの川北地区同様に上風連地区も今、言ったようなことに留意して粛々と事業遂行し、この意見を参考にさせていただきたいと思います。
	座長（宗岡委員）	ここで10分少々休憩したいと思います。 休憩後、大成53線区以下の説明を開始したいと思います。
一時休憩		
③ 【大成53線、大成55線地区】		
15:53	座長（宗岡委員）	農地耕作条件改善事業の別海町の地区が2地区ありますので大成53線地区・大成55線地区をまとめて説明いただき、その後意見交換をしていきたいと思います。よろしくをお願いします。
	別海町担当者	別海町説明
	座長（宗岡委員）	有り難うございました、2地区説明をいただきましたが、何か意見ありませんでしょうか
	外山委員	資料の中、環境情報協議会に報告すべき事項の中で、たぶん問題無いとは思いますが、タンチョウが周辺で生息・営巣している可能性があるため、事前に有識者と打合せを行うようにしてほしい。最近、牧場等にタンチョウが生息している状況が見られるため事前に確認を願う。
	別海町担当者	了解しました。
	座長（宗岡委員）	該当する打合せ先等がわからない場合は、外山委員等を含め、確認いただき、協議をお願いします。
	座長（宗岡委員）	その他ありますか。
	成田委員	既存の道路幅をそのまま舗装するとおもいますが、大型車が多く通行するため、幅員を広くするのでしょうか。
	別海町担当者	交通量から道路幅員・構造を決定しております。
	成田委員	大型の農業車両が多いため幅が広い方が走りやすい、今回は1車線で有るが、直線であるため問題ないと思いますが安全面を考えるなら交互通行等出来ないと思うので。
	別海町担当者	1車線ではありますが、交差する部分には、待避場を設置し交差できる形となっている。
	成田委員	了解しました。
	座長（宗岡委員）	3種5級の道路で中央線がない、車道幅員4m、全幅6mで、200m～300m程度に1カ所待避場を設置する基準になっております。 待避場の長さですが、大型の農業車両等が通行するので、技術的には検討

		が出来ると思われるので、通行車両に合った待避場の長さを検討してほしい。
	別海町担当者	了解しました。
	座長（宗岡委員）	その他ありますでしょうか。
	振興局	2路線とも、今回の区間以降の砂利道は舗装はしないのでしょうか。
	別海町担当者	舗装は今回の計画位置までとなります。
	座長（宗岡委員）	その他ありますでしょうか。
	座長（宗岡委員）	大成53線にはボックスカルバートがありますが、常時の流水は無い状況で、降雨時に一時的に流れるとお聞きしました。また、もしかしたら既存のボックスを残す可能性があるとお聞きしましたが、残すか・残さないかは、早急に決めないと工事費等影響がありますし、道路構造にも関係してくるので早めに検討いただいて実工事に反映できるようにしていただきたい。
	別海町担当者	了解しました。
	座長（宗岡委員）	その他ありますでしょうか。
	座長（宗岡委員）	<p>無いようですので、大成53線地区・大成55線地区まとめになりますが、タンチョウの関係ですが、草地に営巣等含め生息している状況が起きているので、周辺にそのような状況が見られましたら事前に有識者と打合せを行い指示等を確認し守っていただきたい。</p> <p>道路幅員ですが、大きな車両が交互通行できない状態で、交通量等により3種5級の1車線道路での整備となっていますが、一定区間ごとに待避場が作られることにより改善されている。待避場の長さが既存の設計で、ミルクロリー車等の大型車両に対して問題ないかどうか、再検討が必要。</p> <p>既設のボックスカルバートですが、既存のままか、新たに作るのか、出来るだけ早く精査し、予算・工期等問題が起きないように配慮を行いながら進めていただきたい。</p> <p>大成53線地区・大成55線地区については以上となります。</p> <p>今の意見を参考としながら事業を進めていただきたいと思います。</p>
<b>⑤【新酪中春別地区】</b>		
16:03	座長（宗岡委員）	次は最後の地区となりますが、草地畜産基盤整備事業（畜産担い手総合整備事業）新酪中春別地区の説明をお願いします。
	振興局担当者	振興局説明
	座長（宗岡委員）	有り難うございました、説明いただきましたが、何かご意見等ありますでしょうか。
	座長（宗岡委員）	先ほど現地確認したほ場が草地造成Ⅰの工事を行うところで、道路側の雑

		草が生えたところを整備し草地とする、あわせて形状を修正し営農機械の作業効率を良くし、営農時間を短縮させる目的の工事内容ですが、現地植生等は問題ないと思われますので、粛々と工事を進めていただきたいのですが、なぜ雑草帯が残っているかどうか、が疑問なところですが、もしかしたら草地を作ったけれども排水性が悪く刈り取り等を行わない状況が長く続き現在の様になったのでは無いかと推測されるため、排水性は大丈夫か、また、雑草地とならないか、が不安なので、また質の低い草が生えたとしても、区画の形状通り刈ることによって、ほ場形状が守られ、長期間にわたりほ場維持ができるため、地元に対して維持管理等の指導をしていただきたい。環境としては問題ないと思われます。
	振興局担当者	了解しました。
	座長（宗岡委員）	この地区は草地造成が1haのみと言うことで、資料の「環境情報協議会に報告すべき事項」の中で、タンチョウ・しまふくろう等について記載がありますが、先ほどの大成53・55線地区と比べて、問題ないように見られますがどうでしょうか。
	外山委員	作業自体もそんなにかからないと思われますし、問題ないと思われます。
	座長（宗岡委員）	そうですね、くぼみの修正だとか、高いところを削って低いところに土を持っていく等傾斜を緩くしたり、でこぼこを修正することがメインです。
	外山委員	その他としては、タンチョウ等が近くに生息していた場合に、時期的な配慮が必要と思われます。
	座長（宗岡委員）	工事箇所及び近傍に営巣等含め生息している状況が見られましたら事前に有識者と打合せを行い指示等を確認し守っていただきたい。（大成53・55線地区と同様）
	振興局担当者	了解しました。
	座長（宗岡委員）	現地は最初に確認した所ですが、床丹川からの距離が長く、河川の周辺林帯も広くある状況。床丹川は窒素濃度が高い状態ですが、魚類の生息に関わる様なSS成分（浮遊物質量）は少ない環境です。現場条件等を見た状況としては問題無い状態と思います。
	座長（宗岡委員）	その他ありますでしょうか
	座長（宗岡委員）	ないようですので、新酪中春別地区のまとめになりますが、草地造成を実施するほ場ですが、なぜ植生が違うのか、もともときれいな状況であったほ場が、排水性等が悪く刈り取り等を行わない状況が長く続き現在の様になったのでは無いかと推測されるため、工事实施後は最低5年は区画の形状通り刈ることによって、ほ場形状が守られ長期間にわたりほ場維持ができるた

		<p>め、更新作業も楽になると思われしますので、そういったことに配慮していただきたいと思います。</p> <p>近年、タンチョウが草地等に営巣・生息している状況が見られるため、そのような状況が確認できたら、事前に有識者と打合せを行い指示等を確認し守っていただきたい。</p> <p>新酪中春別地区については以上となります。今の意見を参考としながら事業を進めていただきたいと思います。</p>
※まとめ、各委員の方々から		
	座長（宗岡委員）	全5地区の説明が終了しました。全体を通して、ご意見を伺いたいのですがなにかありますでしょうか。
	座長（宗岡委員）	<p>無いようですので、委員の皆様の各専門の立場から全般的な意見を一人一人伺いたいのですが、その前に、協議を後にしておりました、「H29 環境情報協議会開催結果における経過報告並びに H30 対応等について」の意見を併せて伺いたいのですが、なにかありますでしょうか。</p> <p>H29 年度は河畔林距離の問題、草地造成時の代替地の問題、希少動物への配慮のための専門家との情報交換等、大きな検討課題がありましたが、H30 年度は積極的な情報交換が必要な重い案件があまり無く、先ほどの意見等を参考に粛々と工事を進めて問題無いと思うのですが、意見等ありますでしょうか。</p>
	外山委員	地元農家のヒアリング等を行い、それに基づいて専門家と協議を行いながら代替地の提案等含め、地元農家と事業の実施・中止等について調整を行いながら、事業を進めて行くことが出来たのは、大きなことで一歩前進が見られたと思っているので、今後も継続して進めていただければ、自然環境への配慮という点では良いと思います。
	振興局担当者	今後も外山委員の協力をいただきながら、継続して進めて行きたいと思えます。
	座長（宗岡委員）	農業土木は土の切り盛り・水等、物理的な整備等は得意ですが、生物等については、基は素人から始まっていますので、環境の専門家である外山先生に長いスパンで協力ご指導をよろしくお願いします。
	外山委員	こちらこそ、よろしく申し上げます。わからなことがあれば、より専門性の高い先生にもつなげることも出来ますのでよろしく申し上げます。
	座長（宗岡委員）	その他ありますでしょうか。
	座長（宗岡委員）	協議プロセスに関して、道営事業は地元農家・地域と密な打合せを行いながら進めており、工事後に地元で良かったと思われるような事業を進めていただきたい。また、委員等も含めて道営事業についての正確な情報発信等を

		行っていただきたい。
	座長（宗岡委員）	<p>まとめに入って行きたいと思います。各委員の皆様から全体を通して意見等をお願いします。</p> <p>まず、藤倉様よろしく申し上げます。農業者・JA等役員の立場から申し上げます。</p>
	藤倉委員	<p>今年度初めてこの会議に出席したのですが、今日一日勉強しながらの会議だったのですが、昨年度の資料等も拝見したのですが、環境問題について重要視されており、酪農家として環境については大事だとは思っているのですが、ここまでみんなが考えてくれているんだなということであらためて感じました。</p> <p>5カ所現場を見ましたが、総体として大きな問題は無く、河川等についても配慮されているとわかりましたし、問題のあるほ場については取り止めとするなど農家との打合せ等含め、スムーズな事業進捗が感じられました。</p> <p>草地整備・農道・施設等の事業プランがありますが、これらをスムーズに進めることによって、酪農家のコスト低減・環境問題に対しても十分進めていけるのではないかと考えております。</p>
	座長（宗岡委員）	<p>ありがとうございました。</p> <p>続いて成田委員にお願いしたいのですが、漁業者の組織の一員として、水質汚濁の一因が農業にあるのでは無いか、という問題提起の中から、協議を行いながら事業を進めている状況であり。また、漁業者としても水質環境等モニタリングしながら、改善等見ていきながら議論を継続し、協議を行っています。農業と漁業がとても良い形で進めている状況と思われるのですが。今後のさらなる農業農村整備・農業政策等への意見等含めて、これまで・これからについて漁業者としての思い・意見等含め、今日の感想等をお願いします。</p>
	成田委員	<p>2年続けての参加となりますが、去年の協議会では環境と調和した農業農村整備事業の推進に向けた意見として、モモンガ等小動物等に対して防風林が、強風から作物等を守るだけでなく、種の保存・存続にも必要だと知ることが出来ました。</p> <p>今年もそうですが、根室管内の酪農は地域を支える重要な産業であり、農業農村整備事業を進めておりますが、今回の視察で改めて、事前調査等を行い自然環境を把握して、計画段階からいろいろな配慮を行いながら事業を進めていることが確認できました。今後も自然環境に配慮しながら事業を進めていただきたいと思います。また、私は水産関係者ですので、特に河川環境に影響の無い農村整備計画策定をお願いします。</p>

	座長（宗岡委員）	ありがとうございました。続いて、高山委員お願いします。
	高山委員	それぞれの田園環境整備マスタープランに基づいて農業農村整備事業が進められておりますが、各事業主体の方々が環境との調和に配慮した事業につとめられており、このことが地域や農家に広く環境保全に対する意識付けがなされているのかなと思っております。今後も関係者の方々がこのようなことをふまえて事業を推進していただければよりいっそう環境保全に役立つのでは無いかと思っております。
	座長（宗岡委員）	ありがとうございました。 最後に外山先生、環境の専門家として、事前調査も含めて一番重要な役割だったと思いますが、今回、自然環境配慮について貴重種・希少種等、重要な案件は少なかったと思いますが、過去の経緯を含めこれまで・これからについて意見をいただきたいと思っております。
	外山委員	先ほども申しましたが、地元農家さんと自然のことを考えながら事業を進めて行くプロセスが出来たことがすごく大きなことだと思います。また、タンチョウがこれから問題になってくるのかなと思っていて、最近、湿原とか自然純度の高いところに生息していたのが、個体数が多くなってきたことに伴い、農村・牧草地などの近くの草地で繁殖し、草地で採食する、また、農家の牛のえさ場・堆肥場で採食するなどしており、そういったタンチョウに対して配慮が必要なのか、また、どのような共存環境を作っていくのか、ということに対しても今後配慮等を含め、活発に議論を行っていければと思っております。今日はありがとうございました。
	座長（宗岡委員）	ありがとうございました。外山先生と私は5回目の参加となりますが、協議のプロセスが良い方向に向かっていると私も思います。以上4先生の意見をふまえて、今年度の新たな5地区の実施にあたりまして参考にさせていただきたいと思っております。
	座長（宗岡委員）	最後に、農業農村整備事業に関わる技術者の皆様、私は教授研究者ですが、ここ20年あまり農業土木について世間の風当たりが強く、肩身の狭い思いもした時期もありながら、この10年ぐらいは環境に配慮しており、農業土木事業と環境を両立させながら事業を進めて、現在に至っている状況ですので、自信をもって胸を張っていただきたい。 委員の方々には協議会ではこのようなことをやっているんだよと、機会があれば正確な情報を一般の方々に伝えていただきたい。 我々農業土木の一員としては、このようなことをやっているんだよ、ということ伝える手段としての説明責任が大切で、どのような活動をおこなうかということ、アウトリーチ活動といいます、私たちがやっていることを一般の人に広く説明する・公表する・理解を得ること、一般の人たちがマスコ

		<p>ミ論調だけだと農業土木が悪者で終わってしまうことも考えられますので、その中で一般の方々に理解をしてもらい、ひとりでもふたりでも味方に付けて事業を進めて行くことが重要、そのために私たちは一般の方・子供等とどのような関わりができるか、教育研究であれば生涯学習や、環境教育で高校生の農業土木を対象に高大連携事業を行ったりしています。</p> <p>技術者の皆様が一般の方々で行うアウトリーチ活動もあると思いますので道庁の皆様も今やっていることをどのようにして発信して、どのように理解を得ていくか、がとても重要ですのでそのようなことを意識して事業を進めていただき、ご尽力いただきたいと思います。同じ分野の人間として最近感じていることではありますが、このような意見を最後に一つ加えさせていただきました。</p>
	座長（宗岡委員）	<p>特に他に意見等ありますでしょうか。</p> <p>無いようですので、これで今年度の計画策定5地区の意見交換を終了させていただきます。</p> <p>それでは、事務局の方に司会進行をお渡しいたします。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>－以上にて協議会を終了－</p>